



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 大名

上場会社名 CDS株式会社

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長

(氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5410

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	2,036	24.3	325	48.9	323	48.5	199	65.5
23年12月期第1四半期	1,637	15.5	218	550.1	217	340.6	120	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 208百万円 (67.7%) 23年12月期第1四半期 124百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	6,264.38	—
23年12月期第1四半期	3,831.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	5,252	2,802	53.3	87,991.51
23年12月期	4,860	2,669	54.9	83,910.96

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 2,802百万円 23年12月期 2,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	2,000.00	—	2,500.00	4,500.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	2,300.00	—	2,700.00	5,000.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,260	36.6	567	43.2	562	39.5	337	44.5	10,533.15
通期	8,586	15.6	1,110	11.7	1,101	10.9	659	17.6	20,615.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	34,005 株	23年12月期	34,005 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	2,156 株	23年12月期	2,197 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	31,824 株	23年12月期1Q	31,446 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興・復旧需要、米国の景気改善に対する期待感などから株価の上昇が見られるなど、緩やかながらも景気回復の兆しが見られましたが、一方で円高水準の高止まり、個人消費の低迷、原油価格の高騰、原発問題に端を発した電力不足の不安要素など、景気を押し下げる懸念材料もあり、引き続き先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客である大手製造業におきましても、震災後の長引く消費低迷、欧州経済の低迷による輸出の不振、長期化する円高、原油価格の高騰に伴う原材料費の上昇など、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、日本の情報家電産業、産業設備・工作機械産業、自動車産業などに代表される「ものづくり企業」へのサービスに特化し、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム開発事業を展開しております。当社グループでは、高度化・多様化する顧客ニーズに対し、常に最新の情報技術力を保持するとともに、当社独自の技術力を提案することで、「ものづくり企業」へのサポート体制を強化してまいりました。また、高付加価値かつ差別化された技術の提案による“新規顧客の確保”および“新規事業・新規領域の開拓”に注力してきたほか、提案力の強化による“既存顧客の受注拡大と囲い込み強化”を進める経営に取り組んでまいりました。

さらに、業務提携・資本提携を視野に入れた業務拡大政策を積極的に展開しており、昨年7月には株式会社パイオニアメディアクリエイツ（現 株式会社PMC）の全発行済株式を取得し、グループ経営力のさらなる強化を行いました。今後M&Aを中心とした業務拡大政策を積極的に展開していく方針であります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高2,036百万円（前年同期比24.3%増）、営業利益325百万円（前年同期比48.9%増）、経常利益323百万円（前年同期比48.5%増）、四半期純利益199百万円（前年同期比65.5%増）の増収増益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

(ドキュメンテーション事業)

ドキュメンテーション事業におきましては、多言語取扱説明書、組込み型マニュアルといった当社独自の技術力による規模の拡大とブランド力の向上に努め、他社と差別化できる業務および大型案件の受注獲得を進めてきました。また、多機能携帯端末向け次世代マニュアルの開発、3DCAD活用動画マニュアルの制作といった当社の強み・新技術を活かしての新規顧客の開拓を進めてきたほか、昨年7月にグループ化した株式会社PMCとのシナジー効果もあり、売上高は959百万円（前年同期比65.6%増）、営業利益は275百万円（前年同期比43.2%増）と前年同期に対して伸長しました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業におきましては、独自のロボット・FAシステムを軸とした株式会社パイナスの高収益化、既存顧客の囲い込み強化と高スキル技術者派遣による他社との差別化、グループ各社との人材交流による技術系要員の育成に取り組んできた結果、売上高は393百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は96百万円（前年同期比24.9%増）と前年同期に対して伸長しました。

(技術システム開発事業)

技術システム開発事業におきましては、既存事業の付加価値向上による利益率改善、制御技術などコア技術の強化・促進、新ビジネス・オリジナル商品の創生による業務拡大、事業拡大に向けたブランドイメージの構築、パートナーとの連携強化に取り組んできた結果、売上高は691百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は64百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,252百万円であり、前連結会計年度末より391百万円増加しております。内訳としては、流動資産が377百万円増加の3,935百万円、固定資産が14百万円増加の1,317百万円であり、主な要因は、現金及び預金が109百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権が161百万円、仕掛品が63百万円、資産取得などにより有形固定資産が7百万円増加していること等であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より258百万円増加し、2,450百万円となりました。内訳は流動負債が293百万円増加の2,256百万円、固定負債が35百万円減少の193百万円であり、主な要因は、未払法人税等で55百万円の減少があった一方、短期借入金が148百万円、賞与引当金が154百万円増加していること等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、2,802百万円であり、前連結会計年度末より133百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金が119百万円増加したこと等であり、これは四半期純利益199百万円と配当金の支払79百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想については、平成24年2月14日付で発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	782,797	891,814
受取手形及び売掛金	2,110,305	2,150,544
電子記録債権	298,392	419,659
商品及び製品	27,741	24,212
仕掛品	129,968	193,010
原材料及び貯蔵品	28,150	28,714
その他	181,088	228,296
貸倒引当金	△1,300	△1,236
流動資産合計	3,557,144	3,935,016
固定資産		
有形固定資産	337,565	344,838
無形固定資産		
のれん	563,401	552,492
その他	165,124	178,926
無形固定資産合計	728,525	731,418
投資その他の資産		
その他	249,450	253,330
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	237,500	241,380
固定資産合計	1,303,591	1,317,637
資産合計	4,860,736	5,252,653
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	595,552	556,261
短期借入金	490,000	638,000
1年内返済予定の長期借入金	—	36,140
未払法人税等	238,007	182,125
賞与引当金	120,089	275,024
受注損失引当金	8,143	9,698
未払金	278,748	286,683
その他	232,100	272,341
流動負債合計	1,962,641	2,256,274
固定負債		
長期借入金	36,140	—
退職給付引当金	188,812	190,052
資産除去債務	2,367	2,379
その他	1,734	1,506
固定負債合計	229,054	193,938
負債合計	2,191,696	2,450,212

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	893,682	893,682
資本剰余金	881,410	884,396
利益剰余金	1,001,355	1,121,199
自己株式	△99,893	△98,073
株主資本合計	2,676,555	2,801,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	2,608
為替換算調整勘定	△7,515	△1,371
その他の包括利益累計額合計	△7,515	1,237
純資産合計	2,669,039	2,802,441
負債純資産合計	4,860,736	5,252,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,637,565	2,036,270
売上原価	1,092,231	1,319,563
売上総利益	545,333	716,706
販売費及び一般管理費	326,836	391,390
営業利益	218,497	325,315
営業外収益		
受取利息	149	117
雇用調整助成金	1,068	—
未払配当金除斥益	668	—
助成金収入	—	950
その他営業外収益	773	587
営業外収益合計	2,660	1,655
営業外費用		
支払利息	997	1,217
支払融資手数料	2,116	2,137
その他営業外費用	302	189
営業外費用合計	3,415	3,545
経常利益	217,741	323,425
特別損失		
固定資産除却損	14	541
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,178	—
その他特別損失	—	35
特別損失合計	7,193	577
税金等調整前四半期純利益	210,548	322,848
法人税、住民税及び事業税	147,315	191,357
法人税等調整額	△57,259	△67,872
法人税等合計	90,055	123,484
少数株主損益調整前四半期純利益	120,492	199,363
四半期純利益	120,492	199,363

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120,492	199,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	2,608
為替換算調整勘定	3,727	6,143
その他の包括利益合計	3,595	8,752
四半期包括利益	124,088	208,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,088	208,116
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	579,264	369,084	689,216	1,637,565	—	1,637,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	76	—	1,193	1,269	(1,269)	—
計	579,340	369,084	690,410	1,638,835	(1,269)	1,637,565
セグメント利益	192,554	76,961	69,239	338,755	(120,258)	218,497

(注) 1. セグメント利益調整額△120,258千円には、セグメント間取引消去2,274千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△122,532千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	959,261	393,851	683,156	2,036,270	—	2,036,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	265	—	8,409	8,674	(8,674)	—
計	959,527	393,851	691,566	2,044,945	(8,674)	2,036,270
セグメント利益	275,774	96,096	64,400	436,271	(110,955)	325,315

(注) 1. セグメント利益調整額△110,955千円には、セグメント間取引消去4,436千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,392千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。